

令和4年度学校評価書

学校名	兵庫教育大学附属幼稚園
-----	-------------

1 学校教育目標

心身ともにたくましい子どもの育成 ○ 健康な体の子ども ○ よく考えて最後までやりぬく子ども ○ やさしく豊かな心をもつ子ども

2 本年度の重点目標

(1) 園運営

- ・園長のリーダーシップのもと、職員一人ひとりが明確な目的をもって協働して保育に取り組む。
- ・職員の働き方改革を念頭に、仕事内容のバランスや必要に応じた見直しを図りつつ、適正な勤務体制を整備する。
- ・昨年度にリニューアルしたホームページ等を積極的に活用し、保育・研究・社会貢献等について積極的に発信するとともに、定員充足に向けて対外的な広報活動に力を入れる。

(2) 教育研究活動

- ・大学と附属が一体となった共同研究（2年目）の全体テーマのもと、園として研究を深め、その成果を公開、公表する。
- ・園の教育目標、育てたい幼児像を踏まえ、幼稚園教育要領に即した教育課程・内容を着実に実施するとともに、園の特長である「うれしのタイム」における幼児の自発的な活動としての遊びを通じた教育の充実を図る。
- ・合意的配慮の必要な園児への支援をキンダーガーデンカウンセラーと連携して丁寧に行う。

(3) 地域への貢献

- ・保護者の子育て力向上を支援する取組や子育て環境をよりよくするための取組を、地域に向けて積極的に情報発信を行うとともに、子育て支援ルーム「かとう GENKi」との連携を図る。

(4) 他校種との連携

- ・現在求められている小学校教育の中身に応じた日常保育の内容を考える。特に、園児が卒園後スムーズに小学校で就学できるように、附属小学校及び近隣地区小学校と情報交換を密にする。
- ・昨年度から開始した実地教育（教育実習）の充実に向けた園教員の研修を継続して実施するとともに、来年度導入の「実習ノートの電子化」について具体的検討作業を行う。
- ・大学等と連携して、大学教員を招聘しての研究活動や親子活動、保育活動を計画的に推進し、日々の保育へつなげる。

3 自己評価結果（達成状況）【A：達成している B：概ね達成している C：あまり達成していない D：達成していない】

分野・領域	評価項目（取組内容）	取組達成の状況	評価	改善の方策
園運営	<ul style="list-style-type: none"> ○組織運営 <ul style="list-style-type: none"> ・園長のリーダーシップのもと、職員一人ひとりが明確な目的をもって協働して保育に取り組む。特に、職員の働き方改革を念頭に、仕事内容のバランスや必要に応じた見直しを図りつつ、適正な勤務体制を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員がそれぞれ自己目標を定め、園運営、学級運営に主体的に取り組めるよう、管理職が教員会議やその他の場面で機会を捉えながら指導を行った。 ・働き方改革の一環で、勤務時間の適正化に取り組んだ。特に、年度後半からは正規の勤務時間を意識づけるとともに、管理職が必要と判断した時間外勤務のみ許可するようにした。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は職員の出退勤時間の管理等の、勤務時間の適正化には取り組めたが、職務内容についての十分な見直しには至っていない。次年度に向けては、年間を通じた教育課程を見渡ししながら、教員しかできないこと、事務方をお願いすべきことを明確にしていく。同時に、導入予定の校務システムを有効に活用して園務の効率化に取り組む。
	<ul style="list-style-type: none"> ○学年、学級経営 <ul style="list-style-type: none"> ・目指す各学年や学級の姿に向け課題を確認しながら、計画的に保育を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程に基づき、学年経営及び学級経営の方針を立てて（管理職への週案の提出）、計画的に保育を進めた。 ・子どもの育ちについて（特に気になる子どもを中心に）学期ごとに会議等で振り返り、達成状況や課題を確認しながら、保育の質を高めるよう取り組んだ。 	A	
	<ul style="list-style-type: none"> ○説明責任と情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・リニューアルしたホームページ等を積極的に活用し、保育・研究・社会貢献等について積極的に発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対して「ふよっこだより」等を定期的に発行し、教育方針や園で行われる保育の内容、各行事の主旨・取組等を伝え、園の保育や園児の育ちに保護者の理解が得られるようにした。また、緊急の場合にはメール配信を数回行った。 ・園の教育を理解してもらうために、行事（親子活動や誕生会等）で来園した保護者に対して、全体あるいは個別に丁寧な説明と懇談を実施した。 ・リニューアルしたHPを活用し、保護者からの「出欠の連絡」を受け付けた。そのことにより、連絡の確認が徹底された。 	A	
	<ul style="list-style-type: none"> ○危機管理体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・園内の安全な環境構築（施設設備の点検等）に取り組むとともに、園児に対して安全教育への意識付け（避難訓練等）に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、附属学校園として「学校安全に関する事業」を県教委から受託したことを契機に、「学校安全委員会」を数年ぶりに開催することができた。 ・養護教諭を中心に、新型コロナ感染防止対策に継続的に取り組んだ。 ・園内の施設、設備、備品等の安全点検を業者とともに随時行った。また、PTA役員の協力で遊具の安全点検も行った。 ・加東市の警察署及び消防署の協力を得て、充実した安全指導や地震や火災等の避難訓練を園児と教員で実施することができた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度に県教委を通して受託した事業は学校安全に関するこれまでを見直す上では意義深いものとなったが、具体性の点では十分とはいえない。今回の試みを契機に、来年度は附属学校園全体としての取り組みに着手する。
教育研究活動	<ul style="list-style-type: none"> ○教育活動 <ul style="list-style-type: none"> ・研究活動を生かしながら「うれしのタイム」における幼児の自発的な活動としての遊びを通じた教育の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「うれしのタイム」における遊びを通じた教育の充実を図るべく、職員会議等の場において具体的事例を題材にした情報共有を行いつつ、日々の保育に取り組んだ。特に、今年度は手作りの新たな遊びの場を複数設定できた。 ・週の初めに、各学級の週案を副担任・養護教諭を含む全職員に配布周知し、全職員の共通理解を図りつつ計画的な保育が行えるよう取り組んだ。 ・「運動会」や「生活発表会」などの代表的な行事について、感染対策を講じながら無事に実施、終了することができた。 	A	

<p>○幼児理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児一人一人のよさや特性に応じた適切な指導ができるように、キンダーガーデンカウンセラーのアドバイスも参考に職員間で情報を共有し指導にあたる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回来園するキンダーガーデンカウンセラーに通常保育での園児の観察を依頼し、その内容についてまずは担任と共有して意見交換をしてもらうようにした。また、保護者からの要望に応じて個別相談に丁寧に応じてもらった。 ・幼児一人一人の記録に基づき、環境の構成や援助を考えることを継続して行うとともに、定期的に職員で話し合いを持った（必要に応じてカウンセラーも同席）。 ・加東市在住幼児については、加東市発達サポートセンターはぴあによる個別指導を受けるとともに、意見交換を行った。 ・就学に向けて、希望進学先調査を行うとともに、担任や管理職が保護者からの進学相談に対応した。必要に応じて希望進学先と連携し、日常の幼児の様子を見てもらう機会を設け、進学先のスムーズな決定と進学後の適切な受け入れ準備を図った。 	A	
<p>○研究活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学附属共同研究の全体テーマを踏まえた研究に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度からスタートした「大学と附属学校園が一体となった共同研究」を継続的、発展的に実施した2年目の研究に取り組んだ。特に、公開研究会での討議は本学大学院幼年教育発達支援コースの水落講師、並びに生活・健康・情報系教育コースの永田智子教授から講話をいただき、次年度以降の取り組みにつながるものとなった。 	A	
<p>○子育て支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の子育て力向上を支援する取組や子育て環境をよりよくなるための取組を行い、子育て支援事業の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生会で集まった保護者に対し、幼児期の育ちについて伝えるとともに、子育ての悩みについて話を聞きつつ適宜アドバイスを行った。 ・就労等家庭の子育て環境の支援として、預かり保育を充実させるために、通常保育時間の園児の様子等について管理職や担任から指導員に定期的に情報共有を行った。 ・未就園児親子が集まる「子育てひろば」において、管理職や担当講師が幼児期の発達課題について毎回ミニ講義を行った。 	A	

<p>地域への貢献</p>	<p>○開かれた幼稚園づくり ・地域の未就園児親子参加の「子育てひろば」を年間通して実施するとともに、子育て支援ルーム「かとうGENKi」と連携して、地域、幼稚園、家庭が共に育つ活動を展開する。</p>	<p>・「子育てひろば」はコロナ禍前とほぼ同じ回数（8回）を3年ぶりに実施することができ、多くの未就園児と保護者が来園した。</p> <p>・子育て支援ルーム「かとうGENKi」の企画（子育て講座やイベント的事業）に管理職が参加することにより、附属幼稚園の存在は利用者には認知することはできた。ただ、GENKiの施設利用が今年度も制限されていたこともあり、加東市をはじめとした近隣地区に対して十分な発信とはなっていないかった。</p> <p>・園の主要行事である運動会や生活発表会については感染防止に留意しつつ、従来に近い公開方法で実施することができた。</p> <p>・園児の様子について、リニューアルした園HPを通してクラス毎の保護者向け発信が充実した。</p>	<p>B</p>	<p>・園への入園を検討してもらう場として、「子育てひろば」と「かとうGENKi」は重要である。園の特徴を広く周知する上でのそのあり方とともに、広報の仕方を検討していく。</p>
	<p>○研究内容や保育等に関する情報発信 ・研究発表会等を通して、研究の成果を発表し、地域及び社会に貢献する。</p>	<p>・園研究発表会を12月に3年ぶりに対面で開催することができ、公開保育、並びに研究発表と討議を行うことができた。学内外から約50名の参加があり、昨年度から継続的に考えてきた「遊びをSteam教育の視点から深める」上で有意義な場となった。事後アンケートにおいても、「幼児の遊びを深める上での視点が広がった」等の意見をいただいた。</p>	<p>A</p>	
<p>他校種（小・中・高校・大学等）との連携</p>	<p>○校種間連携 ・園児が卒園後にスムーズに小学校に就学できるように、附属小学校及び近隣地区小学校と情報交換を密に行う。</p>	<p>・子どもの育ち（本園から進学した1年生の様子、並びに次年度進学予定の園児の様子）について、5歳児担任と附属小学校1年生担任による情報交換の会合を3学期に数回持った。その成果の一つとして、交流事業（1年生の授業に5歳児が参加、逆に園のうれしのタイムに1年生が参加）を各1回実施することができた。</p> <p>・加東市内の小学校が開催する幼少引き継ぎの会合に5歳児担任が参加し、園児の様子について情報共有を行った。</p>	<p>A</p>	
	<p>○実地教育（教育実習）にかかる連携 ・実地教育の充実に向けた園教員の研修を継続して実施するとともに、「実習ノートの電子化」について検討を行う。</p>	<p>・教育実習総合センターが作成した「実地教育の手引き（指導教員用）」に基づき、管理職による研修を実施するとともに、園実習担当教員が中心となってセンター並びに幼年教育発達支援コース教員と綿密な打ち合わせをすることで、学生にとって満足度の高い実習が行われた。また、電子化に向けてセンターとの打ち合わせ、及び園の環境整備に取り組んだ。</p>	<p>A</p>	
	<p>○大学等との連携 ・大学等と連携して、大学教員を招聘しての研究活動や親子活動、保育活動を計画的に推進し、日々の保育へつなげる。</p>	<p>・「附属幼稚園と幼年教育発達支援コースによる連携会議」を今年度から初めて開催し（2回）、互いの教育や研究の課題や協力体制について意見交換を行った。</p> <p>・研究発表会並びに大学院生の研究活動への協力を契機に、2学期に幼年教育発達支援コースの水落講師に継続的に来園してもらい、本園の研究推進と教育の質の向上に向けた様々な助言を得た。</p> <p>・芸術教育系コースの浅海教授に3歳児の親子活動を、幼年教育発達支援コースの水落講師には4歳児の親子活動に、それぞれ講師として講座を担当いただき、親子ともに貴重な経験をすることができた。また、4歳児は浅海教授の研究室を訪ねて大学で陶芸活動を行うとともに、大学散策を行うことができた。さらに、5歳児は伝統工芸士や兵庫県陶芸美術館スタッフの指導のもと園（遊戯室）において陶芸活動を行い、専門家とのかかわりにより園児にとっては刺激的な場となった。</p>	<p>A</p>	